

2026 年 10 月 21 日
公益財団法人 ダスキン愛の輪基金

ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業 第26期開講式を大阪で開催

公益財団法人ダスキン愛の輪基金（所在地：大阪府吹田市、理事長：大久保 裕行）は、10月15日（木）に「第26期 ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業」の開講式を大阪・江坂で実施し、カザフスタン、ブータン、モンゴル、タイ、ベトナムから5名の研修生を迎えました。本事業は、アジア・太平洋地域における障がい者福祉の向上に貢献するリーダーの育成を目的として1999年に開始し、今年で26期目を迎えます。



ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業 第26期研修生

ダスキン愛の輪基金は、1981年の国際障害者年を契機に、ダスキン創業者・鈴木清一が提唱した「めい・あい・へるぷ・ゆう（何かお手伝いできることはありませんか）」の想いのもと、障がい者の自立と社会との共生の実現を目的に設立された公益財団法人です。当財団では、「ダスキン障害者リーダー育成海外研修派遣事業」と「ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業」の2つの事業を展開しています。設立以来、障がいのある人々の社会参加や国際交流、リーダー育成を目的とした事業を展開してきました。

この度開講した「ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業」は、アジア・太平洋地域の障がいのある人々を日本に招へいし、約10ヶ月間、日本の障がい者福祉や文化を学び、帰国後は母国の障がい者リーダーとして活躍していただくという人材育成事業です。研修生一人ひとりが、自ら策定した研修計画に基づいて学びを深める点が、本事業の大きな特徴です。

研修は日本語または日本手話で行われるため、まず語学研修を受講し、その後、障がい者施策や障がい者運動の歴史、障がい者を取り巻く社会環境、教育・雇用・社会サービスなどを学ぶ集団研修を経て、全国各地の施設や団体で個別研修に取り組みます。帰国後は、それぞれの国や地域で、障がい者福祉の推進や社会参加の実現に向けたリーダーとしての活躍が期待されています。

ダスキン愛の輪基金は、障がいのある人々が地域社会で主体的に活躍できる環境づくりを支援するとともに、アジア・太平洋地域の障がい者福祉の発展に貢献するリーダーの育成に、今後も取り組んでまいります。

【研修生紹介】



【氏 名】 ミエロイェット・インカルベコヴァ (Meruyert Inkarbekova)

【出 身 国】 カザフスタン 【障がい】 聴覚

【研修内容】 ICTやSNSに関わるろう者について、動画撮影技術、ろう通訳など

【コメント】 日本は長い歴史を持つ国なので、その歴史に触れながら学ぶことを楽しみにしています。

この研修で学んだことを自国に持ち帰り、たくさんの人に伝えていきたいです。



【氏 名】 ドルジ・ザンモ (Dorji Zangmo)

【出 身 国】 ブータン 【障がい】 聴覚

【研修内容】 ろう者による活動、障がい者のコミュニティ、通訳技術など

【コメント】 研修では、日本の手話や日本における障がい者の権利についてなどを学びたいです。たくさんの人に出会い、会話をし、学びを深めていけるよう取り組みたいです。



【氏 名】 ビルグン・セルゲレンツオクト (Bilguun Sergelentsogt)

【出 身 国】 モンゴル 【障がい】 聴覚

【研修内容】 日本語能力向上、障がい者の教育・社会環境、インクルーシブ教育など

【コメント】 この研修を通じて、日本語はもちろん、日本の文化、社会環境やインクルーシブについて学びたいです。また、いろいろな場所へ行って日本のコミュニティや活動に触れたいと考えています。



【氏 名】 ニチャーリー・ペンエーチャナーサク (Nitcharee Peneakchanasak)

【出 身 国】 タイ 【障がい】 肢体

【研修内容】 障がい者の自立生活、障がい者の教育と雇用制度など

【コメント】 研修では日本のインクルーシブ教育について学び、それに携わる人たちと交流を深めたいと考えています。また、日本の障がいを持つ方々がどのような活動をしているのかを学びたいです。



【氏 名】 ダオ・グエン・ハ・アイン (Dao Nguyen Ha Anh)

【出 身 国】 ベトナム 【障がい】 肢体

【研修内容】 非営利団体の持続可能な運営方法、障がい者への合理的配慮など

【コメント】 幼いころから日本に興味があり、日本の文化に触れてきたので、研修に参加できることをとてもうれしく思っています。自国の障害を持つ人たちのために何かしたいという想いが強いので、この研修でたくさんのことを学びたいです。

研修生情報の詳細はこちら

<https://duskin-hp.normanet.ne.jp/trainee/index.html>

<参考>

「公益財団法人 ダスキン愛の輪基金」について

国際障害者年が定められた1981年、ダスキン創業者・鈴木清一が提唱した「めい・あい・へるぷ・ゆう（何かお手伝いできることはありませんか）」の精神で「障がい者の自立と社会参加」を支援したいとの想いから発足。「障がい者の自立と社会との共生」の実現を願い、小さなボランティアの輪が広がって、障がいのあるなしにかかわらず、全ての人が心豊かな社会になることを願い「愛の輪運動」を展開しています。この運動を通じて障がい者のある方々が社会への完全参加を果たせるよう、平等の立場から、心身障害児・者福祉の発展に努めています。

<ダスキン障害者リーダー育成海外派遣事業>

地域社会のリーダーとして貢献したいと願う障がいのある方に海外で研修していただくもので、障がい者を対象とした海外研修派遣制度として、財団発足当時から続く事業です。45年間で累計547名の研修生を海外17か国に派遣しました。

研修修了生は教員、俳優、スポーツ選手、国連職員など、幅広い分野で活動し、障がい者の支援体制の確立や制度の改正など、障がい者の自立と共生の実現に向けた取り組みを行っています。

<ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業>

国連・アジア太平洋経済社会委員会が決議した「アジア太平洋障害者の10年」の中間点にあたる1999年、アジア・太平洋地域の障がい者福祉を向上させるために始まりました。

アジア・太平洋地域の障がいのある方を日本に招へいし、約10ヶ月間、日本の障がい者福祉を学び、帰国後は母国のリーダーとして活躍していただくという人材育成事業で、25年間で151名の研修生を29の国と地域から招へいしています。

研修修了生は母国の自立生活センター職員、大学職員、国会議員など幅広い分野で活動し、障がい当事者の権利とエンパワメントの促進や、バリアフリーでインクルーシブな社会の実現に向けた取り組みを行っています。

<沿革>

- 1981年 ミスタードーナツ障がい者リーダー米国留学基金設立
厚生省より「財団法人 広げよう愛の輪運動基金」としての認可を受ける
10名の留学生が決定
- 1982年 第1期留学生10名をアメリカへ派遣
- 1991年 「広げよう愛の輪運動」にダスキン企業グループ全ての組織で取り組みが始まる
障害者リーダー米国留学派遣事業の冠称がミスタードーナツよりダスキンに、米国留学が海外研修に変わる
- 1999年 ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業をスタート
第1期研修生5名（パキスタン、インドネシア、ベトナム、ミャンマー、韓国）を招へい
- 2003年 財団設立25周年記念事業として、「グループ研修派遣」が加わる
- 2010年 広げよう愛の輪運動の30年間にわたる障がい者のための福祉事業が認められ「第60回障害者自立更正等厚生労働大臣表彰」を授賞
- 2011年 公益法人の認定を受け、2012年2月「公益財団法人ダスキン愛の輪基金」に
- 2016年 財団設立35周年
- 2026年 財団設立45周年

【本件に関するメディアからのお問い合わせ先】

公益財団法人 ダスキン愛の輪基金 広報窓口：田路
TEL：06-6821-5006 FAX：06-6821-5357
MAIL：koho2@duskin.co.jp